



## 延久だより



Vol.19

松の内の賑わいも過ぎ、ようやく平生の暮らしがもどってまいりました。朝晩の冷え込みも一層厳しくなってきましたが、令和3年も実り多き一年になりますよう、本年もどうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。そしてこの延久だよりも、引き続き楽しく読んでいただけるよう、透析にまつわる内容だけではなく、いろんな情報をお届けできたらと思います。

2021年がスタートしました。今年の干支は丑年になります。正確に干支を表すと

「辛丑（かのと・うし）」になります。干支は「十<sup>じっかん</sup>干」と「十二支」を組み合わせたものを指します。干支は十干と十二支の組み合わせ 60 通りあるため、干支は60年周期で循環します。次に“丑年”になるのは12年後の2033年ですが、次に“辛丑”になるのは60年後の2081年になるということです。実は還暦という概念はここから来ています。生まれた年の干支を再び迎える年です。

そして、辛丑（かのとうし）」という干支の意味から、十干と十二支は、それぞれ植物の一生を表しています。「辛」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」。「丑」は「種から芽が出ようとする状態」。それぞれ、このような意味があるそうです。

「新しくなろうとしている」「芽を出そうとしている」

2021年は新しい転換期のような感じがしますね。



では、過去を振り返り、60年前の1961年はどんな年だったでしょうか。宇宙飛行士ガガーリンが宇宙へ行きました。世界初の有人宇宙飛行。「地球は青かった」という言葉は有名ですね。日本では坂本九さんの「上を向いて歩こう」が大ヒットした年でした。野球では長嶋茂雄さんと野村克也さんが活躍した年です。長嶋さんの巨人と野村さんの南海がそれぞれのリーグで優勝。そしてこの二人が MVP、さらに二人ともホームラン王になっています。

前年の2020年は新型コロナウイルスの影響で大変な年でした。世界中でいろんな変化のあった一年でした。2021年も新型コロナウイルスはまだ消えることはないでしょう。不安の中の2021年スタートですが、共に希望をもって、明るく！元気に！上を向いて歩いていきましょう！本年もどうぞよろしく願いいたします。